



通信

HP 学校だより
R7.3.21
NO. 45 (最終号)
文責 伊藤美佳



新たなる出発

3月19日(水)に第116回豊坂小学校卒業証書授与式を挙行政いたしました。6年生67名が豊坂小学校を巣立っていきました。

学校の行事の中で、最も厳粛な式である卒業式。極度緊張の中、卒業生も在校生(4、5年生)も成長した姿をたくさん見せてくれました。

式の途中で気分が悪くなった卒業生がいました。式は始まっているので、その子の呼びかけを誰が代わりに言うのか相談することは不可能です。その中で、卒業生の数人が目くばせしながら、そのピンチを乗り越えました。大人が指示しなくても「自分たちで状況を判断して行動できる」そんな成長した姿を見せてくれました。その子は式の後半、調子を取り戻し、「卒業生の歌」の指揮という大役を見事成し遂げました。アクシデントがあったことが、より思いを強くし、心のこもった指揮だったと感じました。

4、5年生は、言葉と歌で「豊坂小学校は任せてください」という思いを伝えてくれました。言葉と歌だけでなく、話を聞く姿勢や表情など、立ち居振る舞いも成長の一端をうかがわせるものでした。1から3年生は、教室で在校生の歌そして校歌を一緒に歌ってくれ、最後に花道をつかって卒業生を見送ってくれました。

豊坂小学校の卒業生は、幸田中学校と南部中学校に分かれて進学します。進んだ先で、自分の持ち味を生かして、より成長してくれると信じています。がんばれ!豊坂っ子!

在校生は、24日の修了式を経て、進級します。今年1年で成長した子どもたちが、新たなステージに進み、より多くの経験をし、自信をつけてくれることを期待します。

